

江別市 予算案



別冊 えべつ未来戦略

えべつ未来づくりビジョン

「えべつ未来づくりビジョン」は、「えべつまちづくり未来構想」と「えべつ未来戦略」の2本柱で構成しています。

「えべつまちづくり未来構想」は、「まちづくりの基本理念」や10年後の「将来都市像」などから成る「めざすまちの姿」をはじめ、これらを実現するための必要な手立てである「まちづくり政策」で構成しています。

「えべつ未来戦略」では、江別市の特色や優れた点を生かして、まちの魅力を高めながら、課題の解決につながるテーマを設定し、その実現に必要な手立てを「まちづくり政策」の中から選び、重点的・集中的に取り組んでいく内容を示します。

えべつ未来戦略

「えべつ未来戦略」は、五つの「戦略」で構成します。

また、各戦略を実現するための基本となる考え方を「基盤」、各戦略を推し進めていくための共通の考え方や手段を「推進機能」とします。

また、各戦略を実現するための手立てを「未来構想」で定める「まちづくり政策」の「具体的施策」の中から選択し、重点的・集中的に取り組んでいきます。

まちづくり政策と未来戦略

えべつまちづくり未来構想
将来都市像『幸せが未来へつづくまち えべつ』

まちづくり政策

- | | | | | | | | | |
|-------|----|----------|-------|------|--------|--------------|-------|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 自然・環境 | 産業 | 福祉・保健・医療 | 安全・安心 | 都市生活 | 子育て・教育 | 生涯学習・文化・スポーツ | 協働・共生 | 計画推進 |

集中的・重点的

推進機能：情報発信、ICT化
～もっと伝わる、もっと便利に、さらにつながる市民と行政～

えべつ未来戦略

- 戦略1 子どもが主役のまちをつくる
- 戦略2 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける
- 戦略3 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる
- 戦略4 地域から地球温暖化防止に挑む
- 戦略5 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく

基盤：協働
～手を取り合い、心をつなぎ、楽しく歩む～

戦略1 子どもが主役のまちをつくる

540,403千円

- 安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠から子育てまで切れ目のない支援を進めます。
- 子育て世帯の経済的な負担軽減を図るなど、子どもが健やかに成長できる環境づくりを進めます。
- ニーズが高まっている放課後児童クラブを充実させ、子どもの生活の場を提供するなど、保護者が働きながら安心して子育てできる環境を整えます。
- 全ての子どもに分け隔てなく学びの機会が提供されるよう、子どもに寄り添った教育環境の一層の充実に取り組みます。

(1) 地域子育て支援の充実

85,559千円

地域子育て支援拠点事業

85,559千円

子育てひろば「ぼこあぼこ」をはじめとした子育て支援センター（地域子育て支援拠点）の運営などを通じて、子育て支援の充実を図ります。

- ◆ 子育て支援センターすくすく
- ◆ 子育てひろばぼこあぼこ
- ◆ 子育て支援センターぼろっこ
- ◆ 民間子育て支援センター



すくすく



リニューアルオープンしたぼこあぼこ

(2) 就学前児童への支援

22,945千円

保育人材等確保対策事業

22,945千円

保育の質の維持・向上に向け、保育従事者の養成や教育・保育施設等に対する保育士等の人材確保のための助成を行います。

- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 保育士等奨学金返還支援事業
- ◆ 保育士等アパート借上支援事業



子育て支援員研修

(3) 学齢児童への支援

345,453千円

放課後児童クラブ

運営費補助金

247,423千円

民間放課後児童クラブに対し、運営に係る費用の一部を助成し、放課後児童健全育成の充実を図ります。

- ◆ 民間放課後児童クラブへの運営費補助
- ◆ 新設民間放課後児童クラブへの施設整備等補助
- ◆ **拡大** 待機児童の発生が見込まれる小学校区等に新規クラブを開設(22クラブ→25クラブ)
- ◆ **新規** 事務補助員の配置補助
- ◆ **新規** ICTシステム導入補助



戦略1 子どもが主役のまちをつくる

(3) 学齢児童への支援

放課後児童クラブ運営事業 19,541千円

公設放課後児童クラブの運営を民間事業者に委託し、放課後に親子共々安心できる「生活の場」を提供します。

- ◆ 江別第一小学校放課後児童クラブの運営委託
- ◆ **新規** ICTシステムの導入



児童センター

児童館地域交流推進事業 78,489千円

市内7か所の児童センターにおいて、地域との交流を通して、遊び・行事・イベントなどの活動を実施します。また、併設された2か所の公設放課後児童クラブを運営します。

- ◆ 児童センター（7館）の運営
- ◆ 放課後児童クラブ（2クラブ）の運営
- ◆ **新規** ICTシステムの導入（児童クラブ）



(4) 教育内容の充実

53,405千円

小中一貫教育推進事業 2,526千円

全小中学校で目指す子ども像を実現するため、義務教育9年間での系統性と連続性のある指導を推進していきます。

- ◆ 小中のつながりを意識した授業
- ◆ 小中で基本的な指導方法の共通化
- ◆ 中学校教諭による小学校での授業
- ◆ 小学生の中学校体験登校、部活動体験



中学校体験登校



チームティーチング

小中学校学習サポート事業 13,000千円

退職教員などを活用し、複数の教員が指導するチームティーチングや、補充的学習を実施することで、子どもたちの学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習
- ◆ 放課後の補充的学習
- ◆ **新規** ボランティア等への交通費支給



戦略1 子どもが主役のまちをつくる

(4) 教育内容の充実

小中学校外国語教育

支援事業 37,879千円

低学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語とする外国語指導助手（ALT）が、小学校で外国語教育を行います。

また、小学校と中学校の英語の授業時に、ALTを派遣し、チームティーチングを行います。

- ◆ ALTの配置（10名）
- ◆ ALT報酬体系の見直し



ALTによる授業

(5) 教育相談・支援の充実

33,041千円

スクールソーシャル

ワーカー事業 11,257千円

いじめ・不登校・家庭環境などの課題を抱える児童生徒やその保護者に対し、スクールソーシャルワーカーが福祉分野の専門的な知識や経験を活用して支援を行います。

- ◆ **拡大** スクールソーシャルワーカー増員（3人→4人）
- ◆ 課題を抱える児童生徒に対する支援
- ◆ 学校・家庭・関係機関との連携調整



中学生サミット

いじめ防止対策事業

2,405千円

ハイパーQUや「心のダイレクトメール」などの取組を通じて、いじめの早期発見・早期対応を図ります。

- ◆ **拡大** これまでの中学校1年生に加え、小学校6年生を対象にしたハイパーQUの実施
- ◆ いじめ根絶をテーマにした中学生サミット開催
- ◆ 「心のダイレクトメール」の実施

不登校児童生徒支援事業

19,379千円

児童生徒の不登校の未然防止を図るとともに、不登校やその傾向にある児童生徒の教育の機会及び居場所の確保を図ります。

- ◆ **拡大** 不登校児童生徒を対象とした適応指導教室の常設化
- ◆ 専任指導員などによる教育相談
- ◆ 小中学校への登校サポーター派遣



- 市民一人ひとりの健康意識を高め、健康診査・がん検診等の受診率の向上や、食生活・運動習慣の改善などを通じて、健康寿命の延伸に取り組みます。
- 一人ひとりの生涯やライフステージに応じた健康づくりを推進します。
- 江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき、多様な主体が生涯にわたって安心して生活できる共生のまちづくりをより一層推進します。

(1)

健康増進活動の推進

10,379千円

健康都市推進事業

1,209千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」に基づき、健康意識向上のための取組を推進します。

- ◆ 野菜摂取をはじめとした、食からの健康づくりを推進
- ◆ 健康チェック等体験型イベントの実施（えべつ健康フェスタ2024）



健康フェスタ2023



健康づくり推進員による活動

健康づくり推進事業

9,170千円

えべつ市民健康づくりプラン21(第3次)に基づき、生活習慣病の予防や、こころの健康づくり等の取組を行い、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 健康づくり推進員の活動支援
- ◆ 食生活改善推進員養成講座
- ◆ 生活習慣病予防教室(中学生)
- ◆ 自殺予防のための普及啓発・人材育成
- ◆ 地域での健康教育・健康相談

(2)

疾病予防・重症化予防の促進

176,876千円

成人検診推進事業

88,315千円

がん等の早期発見、早期治療のため、がん検診等の受診勧奨及び受診しやすい環境づくりを行います。

- ◆ 集団検診事務の一括委託（受付業務、電話受診勧奨、Web予約運用）
- ◆ がん検診等の実施



集団検診バス

戦略2 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける

(2) 疾病予防・重症化予防の促進

高齢者保健・介護予防 一体的実施推進事業

8,673千円

高齢者の医療・介護・保健データの一体的な分析により、健康課題の把握を行い、個別支援と通いの場等を活用した健康教育を通し、保健事業と介護予防を一体的に実施することで健康寿命の延伸を図ります。

- ◆ 通いの場等への専門職派遣による健康教育・健康相談、フレイルチェック、重症化予防（個別支援）
- ◆ **拡大** 健診未受診者等、健康状態が不明な高齢者に対する訪問



特定保健指導

【国民健康保険特別会計】 特定健康診査等事業

72,350千円

国民健康保険被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を実施します。また、特定健康診査受診率や特定保健指導利用率向上のための取組を推進します。

- ◆ 北海道国保連合会の共同事業を活用した受診勧奨ハガキの送付
- ◆ 保健師による低受診率地区への訪問・電話勧奨

【介護保険特別会計】 一般介護予防事業

7,538千円

社会に参加しつつ、地域で自立した日常生活を営めるように、介護予防の普及啓発に取り組めます。

- ◆ フレイル（虚弱状態）予防対策の実施
- ◆ 口腔機能向上対策の実施
- ◆ 住民主体の「通いの場」支援
- ◆ 介護予防教室、出前講話等の実施
- ◆ リハビリテーション職による地域活動支援



リハビリテーション職による地域活動支援

(3) 多様性を認め合う社会意識の醸成

7,285千円

生涯活躍のまち推進事業

7,285千円

江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき、多様な主体が生涯にわたって安心して生活できる共生のまちづくりを目指します。

- ◆ 地域交流事業の実施
- ◆ 障がい者の就労環境の充実（福祉事業所説明会開催）
- ◆ 生涯活躍のまちコーディネーターの配置



地域交流事業



ココルクエバツ

- 未利用地を活用した企業誘致などに取り組み、雇用の創出を促すことにより、地域経済の活性化を図ります。
- 市民が、働きたいと思う仕事や環境を見つけることができるよう、企業とのマッチングを行い、就業ニーズへの対応と人手不足の解消を図ります。
- 市内には魅力的な企業が多数あることから、その情報を発信し、企業の認知度を高めます。

(1)

企業立地の促進

93,195千円

企業立地等補助金

86,957千円

江別市に工場等を新設・増設、または本社機能を移転した企業及びサテライトオフィスを設置する企業に対して、補助金を交付します。

- ◆ 新規立地、増設等に対する補助金
(立地補助金・雇用補助金・下水道使用料補助金・設備更新補助金・本社機能移転補助金)
- ◆ サテライトオフィス設置推進補助金



江別RTNパーク(分譲地)

企業誘致推進事業

1,438千円

産業基盤の確立や、雇用の場を促進するため、未利用工業地への企業誘致を進めます。

- ◆ 企業訪問の実施
- ◆ パンフレット、ビジネスイベント出展等による情報発信・PR



出展ブースでのPR

新規

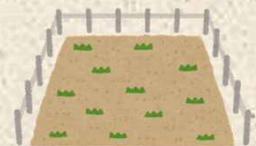
企業誘致における

未利用地活用調査事業

4,800千円

企業誘致の促進に向けて、市内における未利用地の活用について検討を進めます。

- ◆ 未利用地活用検討調査



(2)

就業環境の充実

23,102千円

江別まちなか

仕事プラザ事業

23,102千円

就労支援拠点を設置し、働きたい女性やシニア層等の社会参加向上と企業の雇用確保・拡大に向けた各種取組を推進します。

- ◆ 就労相談や求人情報の提供
- ◆ 女性やシニア層を対象とした就労支援セミナー等の開催
- ◆ 企業説明会・交流会等の開催
- ◆ 子育て応援企業紹介
(子育て世代に向けた企業紹介パンフレットの発行)
- ◆ **新規** 職場体験の試行実施



まちなか仕事プラザ

- 温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を推進します。
- 地域資源を有効活用し、エネルギーの地産地消を促進します。
- 関係団体と協力しながら、年代などに応じた環境教育を行うことで、市民一人ひとりが環境にやさしい取組の大切さに気づき、実践できるようにします。

(1) 脱炭素社会の実現

11,026千円

新規 脱炭素推進事業

11,026千円

二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、脱炭素社会実現に向けた取組を行います。

- ◆ 太陽光発電設備と蓄電池を導入する市民への補助
- ◆ 啓発セミナー等の開催



小学生向けSDGs・ソーラー発電教室

(2) 再生可能エネルギーの導入拡大と利用推進

【再掲】11,026千円

新規 【再掲】 脱炭素推進事業

11,026千円

二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、脱炭素社会実現に向けた取組を行います。

- ◆ 太陽光発電設備と蓄電池を導入する市民への補助
- ◆ 啓発セミナー等の開催



市民向け脱炭素（地球温暖化対策）セミナー

(3) 環境教育・学習の推進

4,901千円

環境教育等推進事業

3,941千円

環境講座等を通して、環境保全への意識啓発を行います。

- ◆ えべつ環境広場の開催
- ◆ 子ども向け教育
- ◆ 市民環境講座 など



水辺の自然塾

環境マネジメント

システム事業

960千円

環境マネジメントシステム（EMS）に基づき、省資源・省エネの推進に向けた取組を行います。

- ◆ 環境経営普及セミナーの開催
- ◆ 江別市省エネ管理システム保守
- ◆ **新規** 省エネルギー診断の実施



- スマートフォンなどを用いて、自身の健康の保持・増進を図る取組を推進します。
- 江別市の魅力である「食」と「農」を守り、育てるため、負担軽減などにつながるAI等の先端技術の導入を推進します。
- デジタル技術は、様々な分野での活用が想定されることから、時代の変化に応じて、積極的に取り入れ、豊かな暮らしをつくります。
- 市民がデジタル化の便利さを実感できるように支援します。

(1) デジタル技術の活用

14,692千円

生涯健康プラット フォーム推進事業

14,692千円

デジタル技術を活用し、市民が生涯にわたって自らの健康を管理していくことができるサービスの提供や拡充などにより、健康寿命の延伸や地域産業の活性化を図ります。

- ◆ 生涯健康プラットフォームの運用



生涯健康プラットフォーム

(2) 農業経営の安定化

96,496千円

地域農業経営安定 推進事業

65,496千円

農業経営の安定に向け、需要に応じた生産拡大に取り組む市内農業者に対し、機械取得や技術導入などについて、国の制度を活用した支援を行います。

- ◆ 農業用機械や施設への補助
- ◆ 新たな営農技術等への補助



新規

スマート農業推進 検討事業

31,000千円

担い手不足の解消や、負担の軽減につながる先端技術の導入について、検討を行います。

- ◆ 農業者に対するニーズ調査
- ◆ ワークショップの実施
- ◆ 実機を用いた試行調査

